第1·2学年 算数科学習指導案

日 時 平成30年11月14日(金)5校時

児 童 枝幸町立山臼小学校

第1学年 1名

第2学年 1名 計2名

授業者 教諭 〇〇 〇〇

第1学年

1 単元名

「ひきざん」

2 単元について

これまでに、「のこりはいくつ」、「どれだけおおい」では減法の意味(求残、求差)と、1位数-1位数、10-1位数の減法の計算を学習してきた。そして「たしざん」では、<math>1位数+1位数で繰り上がりのある加法を指導した。

これらをもとに、本単元では1位数+1位数で繰り上がりのある加法の逆の減法である、繰り下がりのある何十一1位数の減法を学習する。十何一1位数で繰り下がりのある減法では、減加法や減減法といった方法で減数を取り去り、残りの数を求めるという計算のしかたに気づかせることになる。

本単元の内容も繰り上がりのある加法と同様,今後の減法の基礎となる計算なので,十分な理解と習熟を図っておかなければならない重要な学習である。子どもにと減法のほうが加法よりも計算の速さ,正確さが劣り,難しく感じるものであるので,練習方法を工夫し確実に身につくようにしたい。

ブロックなどの半具体物を用いたり, 言葉や式や図などを使ったりして考えることができるようにする。更に それらを使って自分の考えを説明できるようにする。

3 児童の実態…省略

第2学年

1 単元名

「かけ算九九づくり」

2 単元について

前単元では、乗法の意味や式、答えの求め方について 理解を図るとともに、5の段、2の段、3の段、4の段 の九九を構成し、それを使った問題解決や問題作りもさ せてきた。また、その範囲の九九について表にまとめる ことも扱い、交換法則などの決まりにも着目させた。

本単元では、これらの既習事項をふまえ、同数累加としての乗法の意味をもとにしたり、乗数が1増えると積は被乗数と同じ数だけ増えることをもとにしたりして、6の段、7の段、8の段、9の段、1の段の九九を子ども達自身で構成していく。九九は、これから学習する乗法や徐法の計算などの基礎となる内容であるので、その意味をしっかりと理解し、かつ、技能として定着できるようにすることが重要である。九九の構成の学習が終了しても、練習の機会を繰り返し設けたり、ゲームにして取り上げたりするなど、継続的な取り組みによって習熟を図っていきたい。

また,九九を完成したあと,連続量の場面と関連させて,「いくつ分」を「何倍」として捉えることも指導する。倍概念は,本単元の指導に始まり,以降の学年で段階的に理解を深めていく。図の表現とも結びつけながら,実感を伴った理解がされるように工夫したい。

3 児童の実態…省略

4 単元の評価規準

<第1学年>

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
・繰り下がりのある減 法計算のしかたを考 えようとしている。	・十何一1位数で繰り下がりのある減法計算のしかたを,ブロックや言葉,数,式,図を用いて考えている。	・十何―1位数で繰り下がりのある減法計算が確実にできる。	・繰り下がりのある減法 の意味や計算のしかた を理解している。

<第2学年>

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
・乗法について成り	・乗数と積の関係、	• 6, 7, 8, 9,	・式に表したり、式を読み取ったりすること
立つ性質やきまりを見つけ、進んで九九	交換法則などをも とに九九の構成の	1の段の九九を確実に唱えることが	をとおして,乗法が用いられる場面の数量 の関係について理解している。(6,7,8,
一を構成しうようとし	しかたを考えてい	できる。	の
ている。	る。	1 2 3 0	・倍はかけ算の式で表わされることを理解している。

5 単元指導計画

<第1学年> (11 時間 本時 4/11)

/ N1 T 1 T T /	(II 1/1 1/1 I/1 I/		
時数	学習活動	言語活動	評価方法
1	○減法の作問をして, 既習の計算とそうで	※絵を見て,減法の問題を作る。	ノート・発言(関心)
	ない計算があることに気づく。		
2	○12-9の計算のしかたを考え,十何—	※タイルを動かしながら、計算	ノート・発言・確認問
3	1位数で繰り下がりのある減法の計算	のしかたを説明する。	題(考え・知識)
	のしかたを理解する。(減加法)		
4	○12-3の計算のしかたを考え,十何—	※タイルを動かしながら、計算	ノート・発言・確認問
(本時)	1位数で繰り下がりのある減法計算の	のしかたを説明する。	題(考え・知識)
5	しかたを理解する。(減減法)		
6	○十何―1位数で繰り下がりのある文章	※考えをノートにまとめる。	ノート・発言(技術)
	問題を解いたり,作問をしたりする。		
7	○計算カードを使って,十何―1位数の繰	※ひき算のカードを声に出して	カード・発言(技術)
8	り下がりのある減法計算に習熟する。	計算する。	
9	○同じ答えのある減の式を見つけて順序	※どのようにカードを並べたか	カード・発言(考え・
1 0	よく並べることをとおして、被減数や減	考えを説明する。	技術)
	数の変化のきまりに気づく。	\$ · = = = / = 0	5
1 1	○まとめ		
I			

<第2学年>(8時間 本時 15/17)

時数	学習活動	言語活動	評価方法
1	○九九づくりの図を用いて6の段の九九	※6の段を見て気づいたことを発	発言・ノート(考え)
	の構成をすることができる。	表する。	
2 3	○6の段の九九を暗唱し、文章問題に取り組	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問
3	む。		題(技能)
4	○九九づくりの図を用いて7の段の九九	※7の段を見て気づいたことを発	発言・ノート(考え)
	の構成をすることができる。	表する。	
5	○7の段の九九を暗唱し,文章問題に取り	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問
6	組む。		題(技能)
7	○文章問題を見て,8の段の九九を構成す	※8×4の答えの求め方を考える。	ノート・発言(考え)
	ることができる。		
8	○8の段の九九を暗唱し,文章問題に取り	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問
	組む。		題(技能)
1 0	○文章問題を見て,9の段の九九を構成す	※9×4の答えの求め方を考える。	ノート・発言(考え)
	ることができる。		
$\begin{array}{c c} 1 & 1 \\ 1 & 2 \end{array}$	○9の段の九九を暗唱し,文章問題に取り	※九九カードを使って練習する。	ノート・発言・確認問
	組む。		題(技能)
1 3	○文章問題を見て, 1の段の九九を構成す	※1×5の答えの求め方を考える。	ノート・発言(考え)
1 4	ることができる。	0.2 //) 10.2 de 2.2 de 10.2 de 10.	70
1 4	○4cmの2つ分の長さを求めることを	※テープを使いながら、考えを説明	ノート・発言・確認問
1 5	とおして、倍概念の基礎を理解する。	<i>†</i> 3.	題(知識・技能)
15 本時	○箱に整列して入ったゼリーの数をいろ	※1つの数の求め方を九九を使っ	ノート・発言・確認問
	いろな式や図で表す。	て多様に考える。	題(考え)
1 6	○箱に入ったチョコレートの数を求めること	※九九が適用できるように分割し	ノート・発言・確認問
	をとおして、九九ができるように分割した	たり、移動したりするなどの工夫	題(考え)
1 7	り、移動したりする求め方と考える。	を考えている。	
1 7	○まとめ		

6 本時について

- (1) 本時の目標 ○十何—1位数で繰り下がりのある減法計算の仕方を 理解する。 理解する。
- (1) 本時の目標○1つの数の求め方を九九を使って多様に考えることができる。

(2) 木時の展盟

(2)	・本時の展開					
	第1学年	第1学年 4/11 第2学年 15/17				
段階	学習内容 · 学習活動 ※言語活動	教師 <i>0</i> ●発問 ★割		かけ ※言語活動	学習内容 ・学習活動 ※言語活動	段 階
つかむ5分	・107 ページの絵を見て, まだ解決していない問題を確認する。 「あひるの問題だ!」 課題 12-3の計算の しかたを考えよう。	●解決していない 問題はどれかな。 【仮説 1 — ①】 問題課題提示の工 夫。	ТШ	水口印伯	 100ます計算 復習問題 	ら かえる 5 分
考える15分	 ・タイルを動かしながら、 ノートに自分の考えをまとめる。 〈予想される考え〉 12は10と2。 10-3=7 2+7=9 だから12-3=9 できる。 ・自分の考えを発表する。 ・けんじのようによりにのかを考えを見したのかを考えさせる。 3は2と1。 12-2は10。 10-1は9。 だから12-3=9 	【仮3一①】 話し合いや交流場 面の工夫。		●普段かけ算を使う時はどんな時かな。【仮説1─①】・求め方は1つではないことを伝える。	 ・かけ算を日常で使う場面を考えさせる。 「たくさんの数を,数える時。」 ・ゼリーの絵を見せる。 問題してあるでしょう。 ・本時の課題を確認する。 課題いるなもとめ方で考えよう。 ・見通しをもつ。 	つかむ5分
まとめる15分	「10じゃなくて,3をわけている。」 「全部ひき算をしている。」 まとめ ひき算は,ひきひき算の 計算でもできる。	「2つの計算で違 うところはどこ かな。」 ★十何一1位数で 繰り下がりのあ る減法計算の仕 方を理解する。	同時間接	・ヒントカードを用 意しておく。 ★多様な求め方を 考えることがで きる。	・ワークシートを使って、 ゼリーの個数を求める 式を考える。 <予想される考え> ・4×6(縦に4横に6) ・6×4(横に6縦に4) ・8×3(同じ果物が3 種類)	考える20分

ふりかえる10分	• 確認問題	【仮2一①】 学習シートの工夫。 類似した問題をプ リントで用意する。	●考えを発表しましょう。 ・みきさんの考えが出なかった場合は、取り上げる。 【仮3一①】 話し合いや交流場面の工夫。	・考えを発表する。 ・みきさんの分け方を見て、どのように計算したかを考えて発表する。 まとめ答えが同じでも、いろいろな求め方がある。	まとめる15分
分 			【仮2一①】 確認問題で学習を 振り返る。	 	分

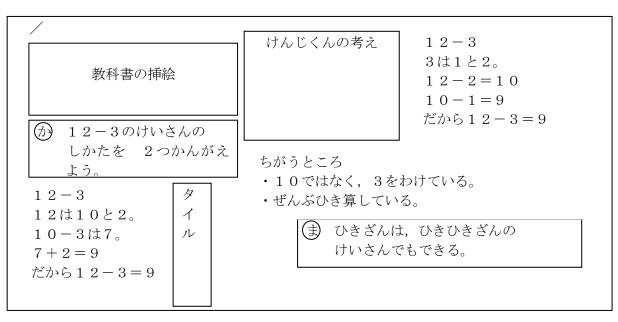
(3) 評価

○十何─1位数で繰り下がりのある減法計算の仕 方を理解できたか。

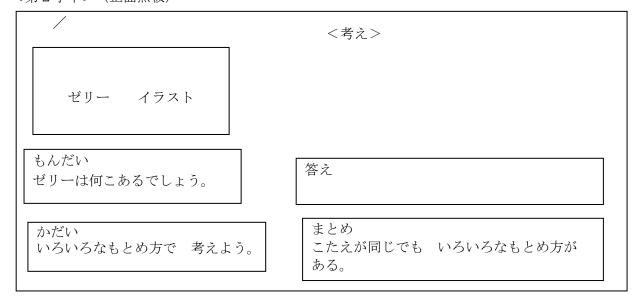
(3) 評価

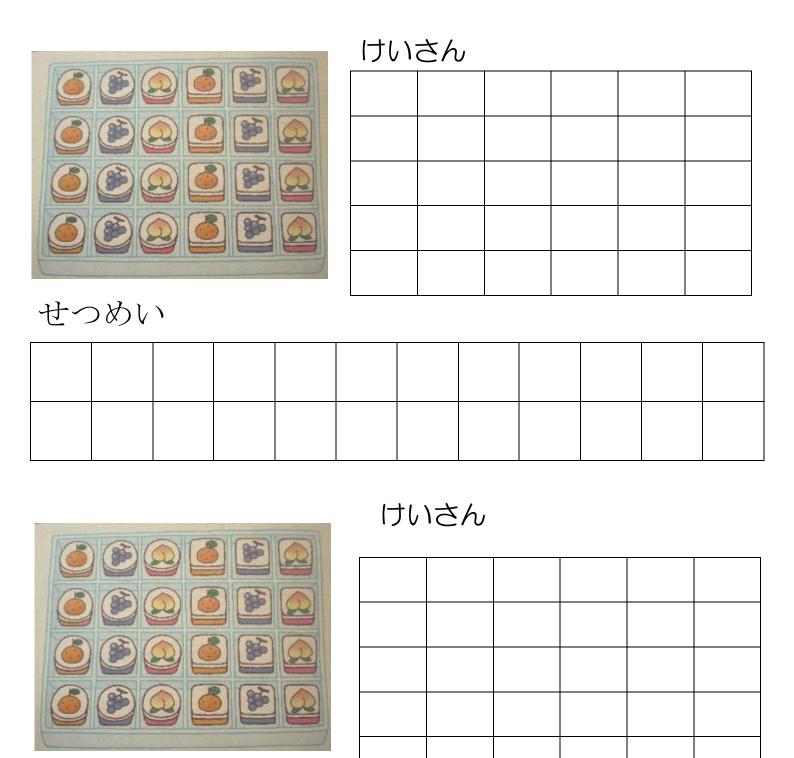
○1つの数の求め方を九九を使って多様に考えることができたか。

<第1学年>(側面黒板)



<第2学年>(正面黒板)





せつめい